



令和7年12月
第251号

かけはし

ケアハウスあじさい園

URL: <http://www.ajisaien.or.jp/>



長年、晃宝会の外部評価機関としてご指導をいただいているNネットO先生の「尊厳を守る」とは」の解説①～④がNネット通信に掲載されていましたので、共有させていただきます。

①「利用者の生活歴、価値観や生活習慣、生きがいなどの把握」
介護は、利用者を守ることから始まります。医療面や身体面のアセスメントだけでなく、どのような環境で、どのような人生を歩んできたか、何を生きがいに暮らしていたかなどを把握することが尊厳を守る第一歩です。入居前だけでなく、グループホームでの生活の中で利用者から聞きとり、記録して職員で共有し、介護に役立ててほしいと思います。

②「自己決定の尊重」
外部評価で「利用者からの思いや意向の表明があまりない」と聞くことがあります。利用者の思いや意向を意識的に引き出し、自己決定をする機会を日常的に作り出したりすることも介護の大切な仕事だと思っています。

③「残存能力の活用」
利用者ができることは、時間がかかっても、してもらいましょう。利用者が残存能力を発揮してもらえ環境の整備も必要です。生活リハビリの観点から、食事の時は車椅子の方も普通の椅子に座りかえてほしいものです。最近、残存能力の保持だけでなく、積極的に運動し筋力をつけ、健康寿命を延ばす考え方が主流になっていきます。

④「利用者の社会とのかかわり」
家族との交流だけでなく、エコマップを作って社会資源を把握し、社会との交流の場を創り出しましょう。また、お出掛けする機会をつくり、記録して計画的な外出支援に繋げてほしい。買い物に出かけたり、外食をしたり、たまには花見に出かけたりたいものです。

最後に、利用者の「尊厳を守る」ことは、事業所での生活すべての支援にかかわってきます。もし、利用者個々の尊厳を守る上で解決すべき課題があれば、ケアプランに盛り込んで実施し、利用者がよりその人らしく生きていけるよう、支援してほしいと思います。

「これからもずっと守っていききたいご利用者おひとりおひとりの尊厳」について、専門職として常に寄り添い考え続けたい、とあらためて、気持ちが引き締まりました。

12月行事予定

7(日) いどばた会
11(木) 訪問理美容
25(木) 食事会(忘年会)



11月9日(日) あじさい園秋祭り

デイルームにて、各部署ごとに、たこ焼き、綿菓子、すいもんスイーツを堪能して頂き、ゲームコーナーで一層楽しんで下さいました。



お誕生日おめでとうございます

A様 (93歳)
B様 (90歳)
C様 (78歳)



新入居者様のご紹介

A様 12/1 ご入居
皆様、よろしくお願い致します。

